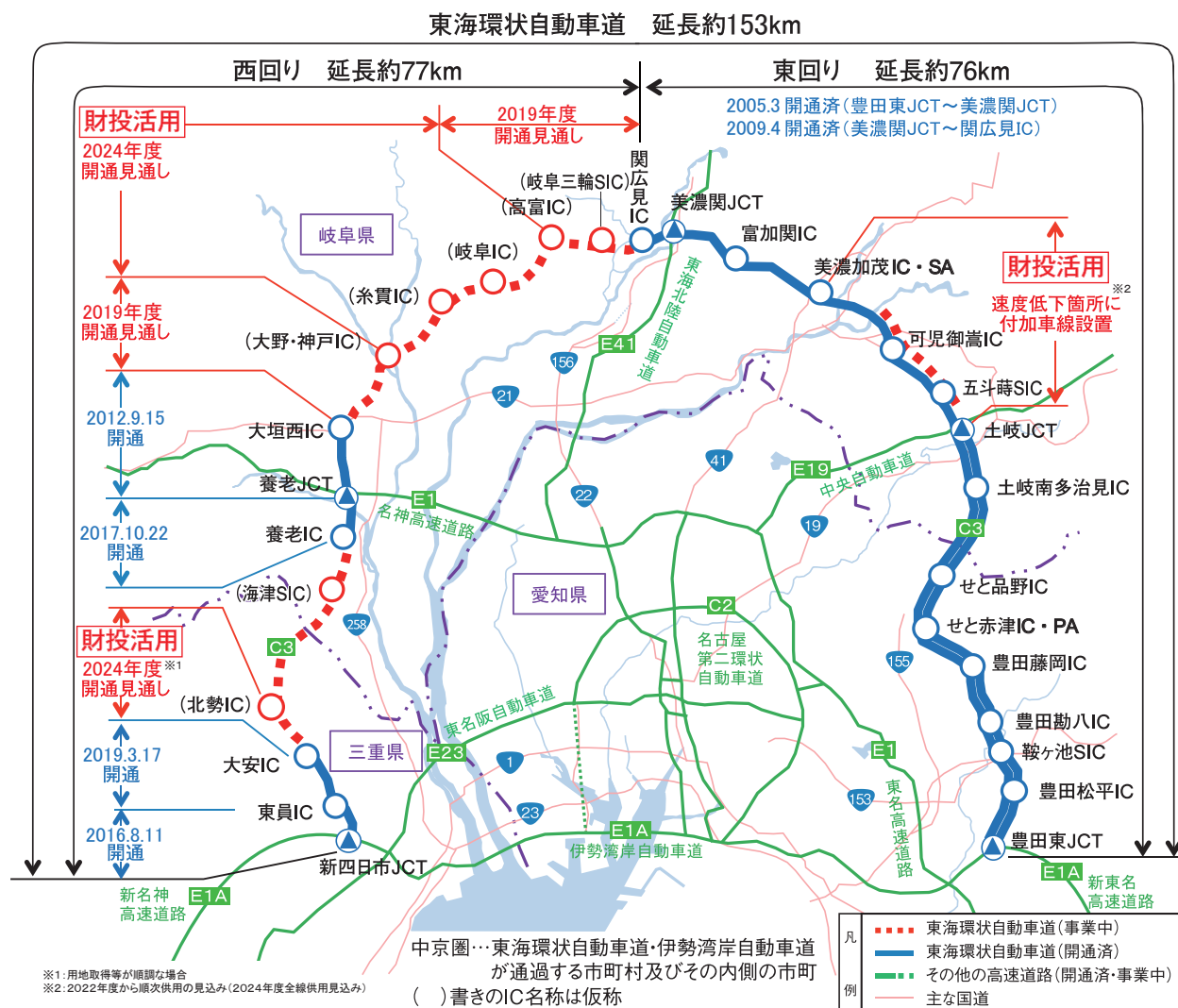


2. 最近の話題

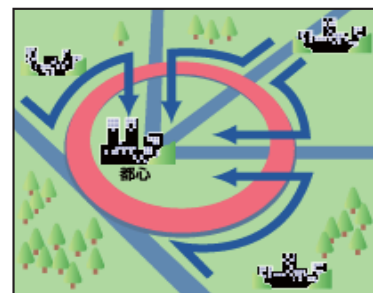
1 東海環状自動車道の進捗状況

- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格幹線道路。
- 中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。
- 道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進み、**開発の効果は子孫に引き継がれていきます**（ストック効果）



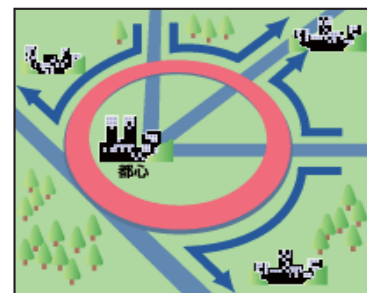
環状道路の機能

■分散導入機能



郊外から都心部への交通を分散導入することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■バイパス機能



通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■非常時の迂回機能



災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります。

開通に向け工事が進む 東海環状自動車道(西回り)

■関広見IC～(高富IC)：2019年度開通見通し



■(大野・神戸IC)～大垣西IC：2019年度開通見通し



■(高富IC)～(大野・神戸IC)※：2024年度開通見通し



※: 中日本高速道路(株)からの受託により、橋梁下部工事、改良工事を行う箇所があります。

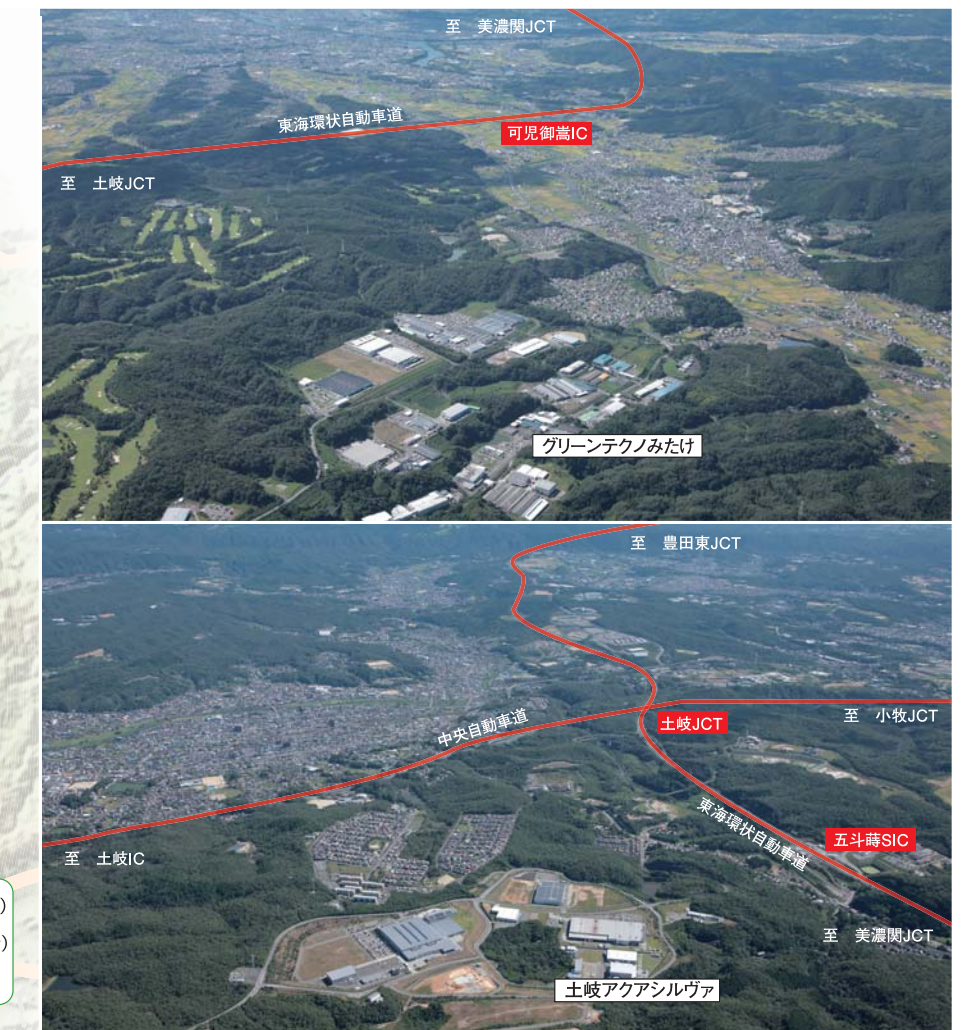
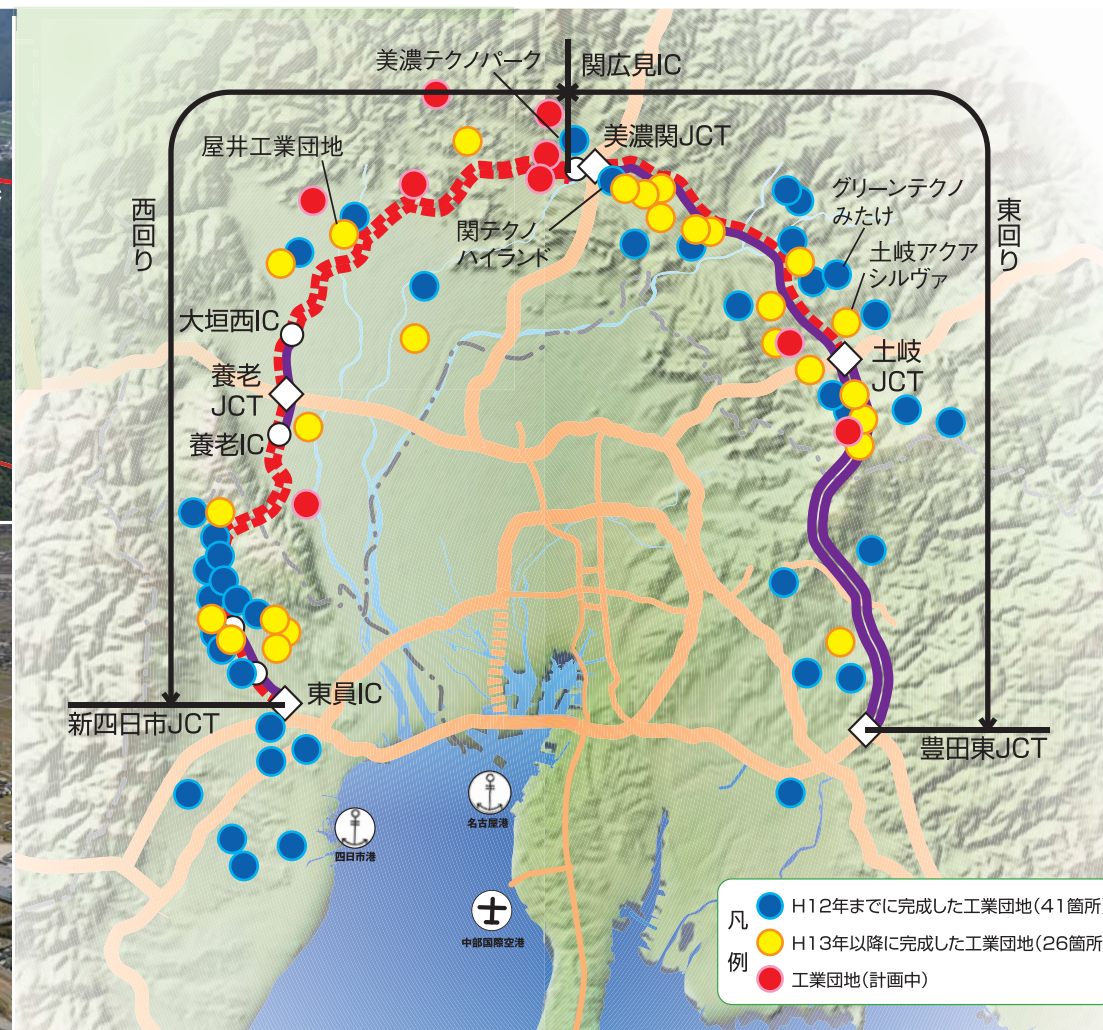
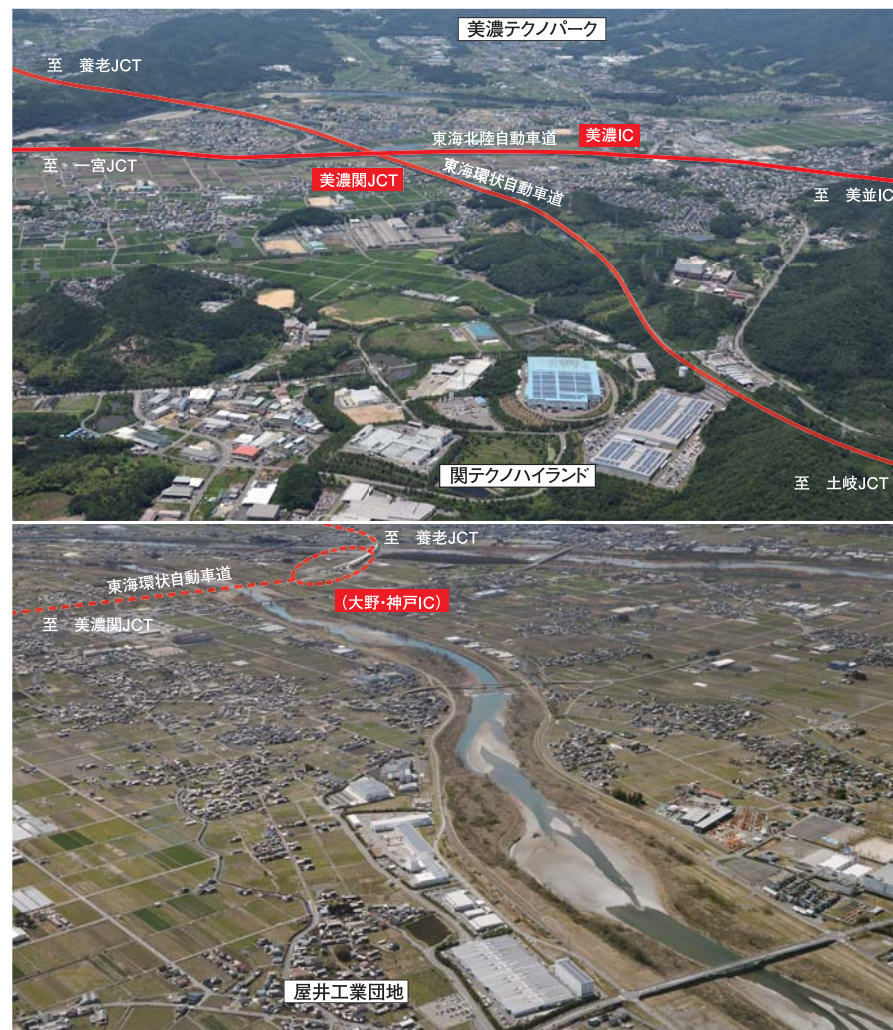
旬な現場 をご案内します。○詳しくは、国土交通省岐阜国道事務所計画課(連絡先:058-271-9815)までお問い合わせ下さい。

2. 最近の話題

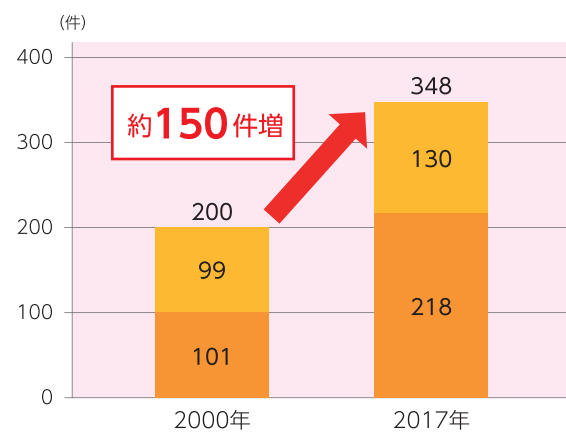
2 ストック効果(民需誘発)：工業団地が整備される等、民需が誘発

【効果】 ○東海環状自動車道(東回り)全線工事着手後、沿線市町の工業団地が約1.6倍に増加し、約150企業が進出、約3.6万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約7兆円増加。

【期待】 ○東海環状自動車道(西回り)沿線では、32箇所の既存工業団地に加え、開通を見据えた7工業団地が計画中。

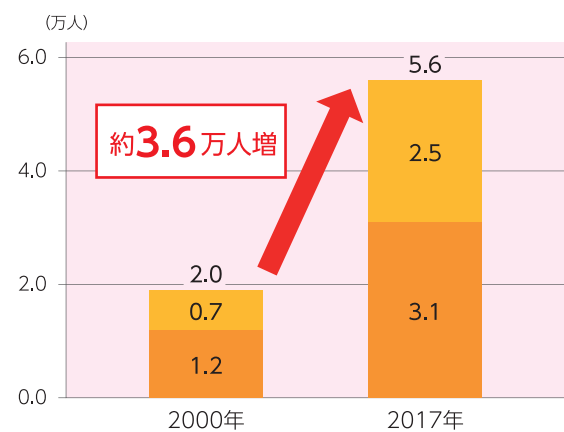


工業団地の立地企業数※1



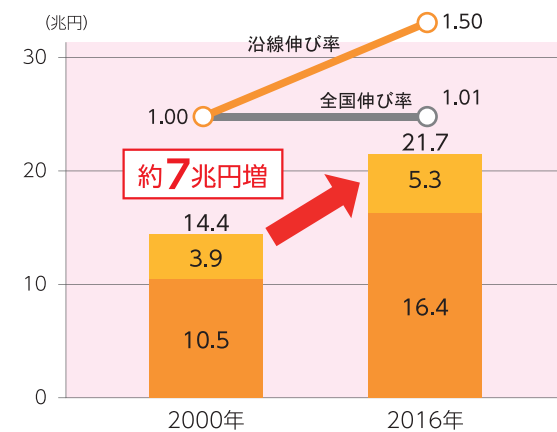
出典：自治体調査

工業団地に立地した企業雇用者数※1



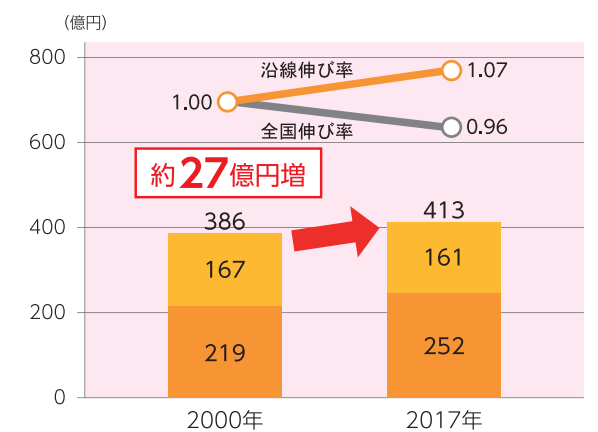
出典：自治体調査

製造品出荷額等



出典：工業統計

法人税収※2



出典：地方財政状況調査

※1 2017年1月時点の自治体調査結果

※2 法人税収：市町村民税の法人税割と法人均等割の和

※3 沿線自治体：東海環状自動車道が通過する市町（東回り：8市4町、西回り：7市4町）

西回り沿線自治体※3

東回り沿線自治体※3

2. 最近の話題

3 ストック効果(地域活性化)：自治体のまちづくりが促進し、地域が活性化

【効果】 ○工事が進む西回り沿線では道路の開通を見据え、まちづくりや観光活性化の取組が促進

【期待】 ○既に開通している東回り沿線では、都市公園、商業施設、住宅団地等の整備により、自治体のまちづくりが促進。



2. 最近の話題

4 岐阜県道路メンテナンス会議

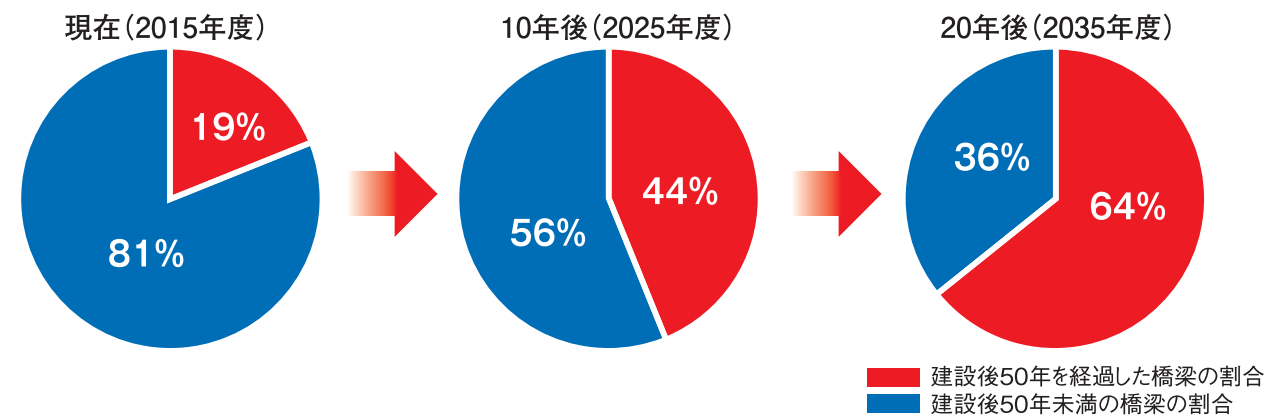
地方公共団体が抱える三つの課題(人材・技術力・予算)に対して、国と県が連携して支援策の検討・活用等を実施します。

● **構成員** 国、県、市町村、中日本高速道路㈱の道路管理者

● **設立日** 平成26年4月25日

● **岐阜県内の建設後50年を経過した桥梁の割合** 建設年度不明桥梁(14,033橋)を除く
(橋長2m以上、2015年6月現在)

岐阜県には国と県と市町村が管理する橋長2m以上の桥梁は26,132橋、このうち建設後50年を経過する桥梁が、2015年6月時点で19%あります。しかし、高度成長期に建設された桥梁が多く、20年後には高齢化した桥梁の割合は64%に急増します。



● 平成29年度点検実施数

<平成29年度管理者別点検結果(橋梁)>

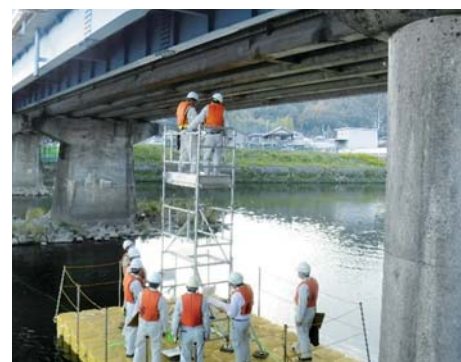
管理者	管理施設数	点検実施数
国土交通省	1,073	234
高速道路会社	692	274
地方公共団体	25,116	5,752
合計	26,881	6,260

※H30.3月末時点

※本表は、メンテナンス会議の構成員の施設数をとりまとめたもの。

● 現地点検講習会

構造物の点検に関する基礎知識と、点検の実施に必要な技術的知識の向上を目的とした研修を実施し、338名(平成27～30年度累計)の方に参加いただきました。



フロート台船+ローリングタワーの試乗体験
桁下等の診断講習

<平成30年度実績>

開催日	開催場所	参加者
H30.11.8	山県市	22名
H30.11.7	白川村	23名
H30.11.27	多治見市	9名

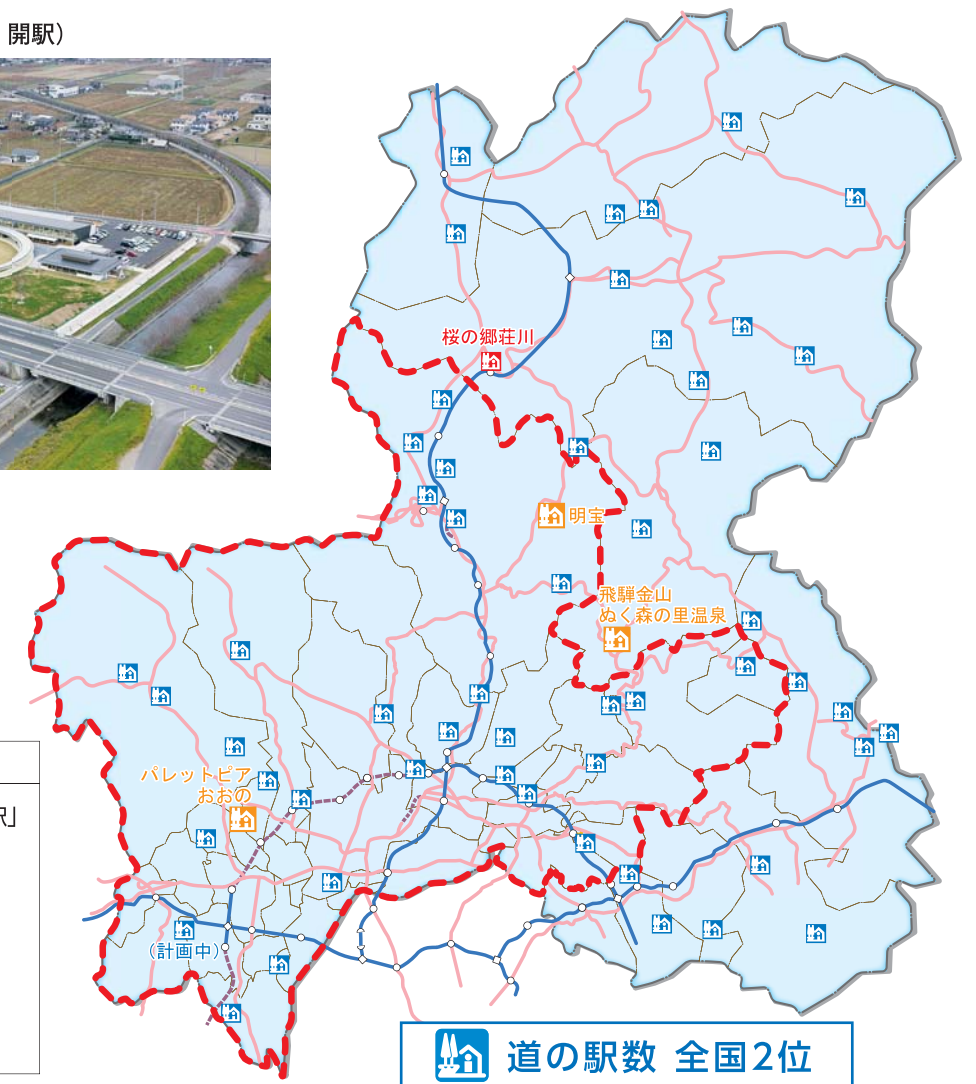
<平成27年度以降>

開催年度	開催箇所数	参加者
平成27年度	9箇所	166名
平成28年度	4箇所	53名
平成29年度	4箇所	65名
平成30年度	3箇所	54名
合計	20箇所	338名

5 「道の駅」

岐阜県内には、56箇所(H31.3現在)の道の駅が存在し、全国第2位の数を持っています。
また、東海環状自動車道の開通を見据え、新たに1箇所完成し1箇所計画されています。

● 「道の駅」パレットピアおおの(H30.7.11 開駅)



凡 例	
	特定テーマ型モデル「道の駅」 (国土交通大臣認定)
	重点「道の駅」 (国土交通大臣選定)
	道の駅
	岐阜国道管内

特定テーマ型モデル「道の駅」
国土交通大臣認定

特定のテーマについて、「道の駅」の質的向上に資する全国の模範となる取組を行い、その成果が認められるもの

「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ(部門)を設定
平成28年度：住民サービス部門
平成29年度：地域交通拠点部門

重点「道の駅」
国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援

トピックス

国土交通省では、国民の皆様に道路インフラの現状や老朽化対策についてご理解頂くため、点検実施状況や点検結果を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめました。

道路メンテナンス年報は、行政関係者による点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案だけでなく、大学や民間企業での維持管理分野の分析・研究開発での活用も期待しています。

道路メンテナンス年報は、以下の国土交通省ホームページでご覧ください。

・ http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html